

なんとか完成。先生、どうですか？

初めに縄文時代や弥生時代の服を着させてもらいました。暑くてチクチクします。わたしたちが毎日着ている洋服と比べると、かなり重たく、暑苦しく感じました。

いよいよ布作りに挑戦。縄文時代の編み方、弥生時代の織り方を体験

豆記者

常世 麟太郎
福島 美友
帆足 真鈴

植物の繊維で布作り

出していました。この火種を植物の繊維などで作ったわたで包み、風を送りこむと一瞬にして炎が燃え上がります。



舞鑽法でも、へとへとだよ

まさか火をおこすだけでこんなに汗をかいてしまうなんて...。大昔は、木でできた台の上で、棒を回転させ、摩擦の熱で火種を作り

昔の火おこしは大変！

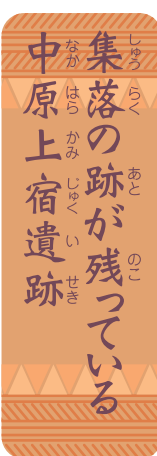
豆記者

大山 遥生
林 果奈枝

集落の跡が残っている 中原上宿遺跡

中原上宿遺跡には、歩道に、復元された弥生時代の住居や記念碑、さらには発掘された家の跡などを元にした絵が書いてありました。

米作りの時代は、水や土地を求めて争いがあった時代でした。発掘された遺跡の中に、縄文時代と弥生時



古代人にへんし〜ん

しました。糸は植物の繊維でできています。

2つの時代の布作りを体験して、普段わたしたちが何気なく着ている洋服は、長い時間をかけて、昔の人の知恵から生まれたものだということを知りました。



矢じりも時代に 上:弥生時代 によって違うんですね。下:縄文時代



代の矢じりがありました。縄文時代の矢じりは小さく、動物を捕まえるためだけに使ったのに対して、弥生時代の矢じりはすどくと、とがったものになっています。人間同士の争いに使ったためだったそうです。

米作りが後の世の中に争いを巻き起こしてしまっただけで、とても驚きました。みんなが平等に生活していれば争いは起きなかったかもしれなのにも思いました。だけど、遺跡からこんなことまで分かることをわたしたちは発見できました。

ただでもうへとへと。試した中では、工夫されている舞鑽法が一番楽しかったかな。



人の暮らしも変化しました

平塚の遺跡から、焼けたお米が付いた土器が発見されているそうです。このことから、平塚でも米作りをしていたことがわかります。平塚でも米作りを始めたことによって、貧富の差が生まれていったのかな。

縄文時代と弥生時代とは火おこしに使われていた道具も違います。

手を擦り合わせて棒を回転させる縄文時代のキリモミ法や、少ない手の動きで棒がたくさん回転するように工夫された弥生時代の舞鑽法などに挑戦しました。だけど火種を作るだけでもうへとへと。



すごいなあ!!



うわあ、燃えた！

弥生時代は、お米を最初に作った時代です。お米を作るには、川から水を引かなければなりません。上吉沢にある原口遺跡のように、水が引きやすくして田んぼを作りやすい谷あいに、弥生時代の人々は住んでいました。大昔の人が米作りを始めてから何が変わったと思いますか？ それまで、人々は狩りをしたり木の実をとったりして、みんなで分けていたので、貧富の差はありませんでした。しかし米作りが始まってからは、収穫量の違いにより貧富の差が生まれてしまったのです。

山の谷あいにある 原口遺跡